

蔡國強 / CAI GUO-QIANG

成年月日： 1957年12月8日、中国福建省泉州市に生まれる
教育： 1981年-1985年上海演劇大学美術学部に学ぶ
滞在： 1986年-1995年 東京、日本
1995年-現在：ニューヨーク

助成金、賞：

カルティエ現代美術財団アーティスト・イン・レジデンス・プログラムにより三ヶ月間パリに滞在， 1993

第46回ベニス・ビエンナーレ / トランスカルチャー展「ベネッセ賞」受賞
「日本文化デザイン賞」受賞， 1995

ACC (アジア・カルチュラル・カウンシル) の招待により、一年間ニューヨークP. S. 1
インターナショナル・スタジオ・プログラムに参加， 1995-1996

第1回「織部賞」受賞， 日本， 1997

第48回ベニス・ビエンナーレ「国際金獅子賞」受賞， イタリア， 1999

「アルパート芸術賞」受賞， アメリカ， 2001

「国際芸術評論家協会US部門最優秀展覧会および展示賞 “Cai Guo-Qiang: Inopportune”」受賞，
アメリカ， 2005

第7回「ヒロシマ賞」受賞， 日本， 2007

北京オリンピック開閉会式ビジュアル。スペシャルエフェクトスーパーバイザー。芸術監督を勤める
第3回Art of China Awards受賞、中国， 2008

第20回福岡アジア文化賞受賞、日本， 2009

特別なポジション：2008年北京オリンピック・パラリンピック開閉会式視覚特殊芸術監督を務める。

主な展示歴

個展

1987

日本外国人記者クラブ、東京

1989

「作品展1988-89」大阪府立現代美術センター， 大阪

1991

「原初火球 -The Project for Projects」P3 art and environment， 東京

1992

「嘆きの壁 -400台の自動車のエンジンより」かわさきIBM 市民文化ギャラリー， 川崎

1993

「Project for Extraterrestrials No.10: 万里の長城を一万メートル延長するプロジェクト」嘉峪関， 中国

1994

「混沌」世田谷美術館，東京
「炎について」東京画廊，東京
「Project for Extraterrestrials No.14：地平線-環太平洋より」いわき，福島
「環太平洋より」いわき市立美術館，福島
「生命暦」APAギャラリー，名古屋

1996

「キノコ雲のある世紀-Projects for 20th Century」ネヴァダ核実験場 /ソルト・レイク/ニューヨーク,アメリカ

1997

「文化大混浴-Projects for 20th Century」クイーンズ美術館，ニューヨーク，アメリカ
「飛龍在天」ルイジアナ近代美術館，デンマーク

1998

「不破不立-引爆台湾省立美術館」台湾省立美術館（現・国立台湾美術館），台中，台湾
「胡思乱想」誠品画廊，台北，台湾

1999

「私は千年虫」クンストハーレ・ウイーン，オーストリア

2000

「階段をのぼる」第69連隊武器庫（アーモリーショー），ニューヨーク，アメリカ
「The Project for Projects」カルティエ現代美術財団，パリ，フランス

2001

「アーティスティック・デレクション上海 APEC 花火プロジェクト」上海，中国
「随意の歴史」リヨン現代美術館，リヨン，フランス
「万華鏡」ノマルエディション・プロジェクト・スペース，大阪
「キュレーションUMoCA / 橋下現代美術館開館記念展 倪再沁個展」アルテ・コンティニューア，コッレ・ディ・ヴァル・デルザ，イタリア
「印象油絵ドローイング」チャールズ・H・スコット・ギャラリー，バンクーバー，カナダ
「水墨写生実演」コンテンポラリー・アート・ギャラリー，バンクーバー，カナダ

2002

「空霊の花」トレント市立現代美術館，トレント，イタリア
「動く虹」ニューヨーク近代美術館，ニューヨーク，アメリカ
「蔡國強の茶室-岡倉天心へのオマージュ」箱根 彫刻の森美術館，箱根
「蔡國強芸術展」上海美術館，上海，中国

2003

「空にある鷲と目と人間-シワのための凧揚げプロジェクト」シワ，エジプト
「空の光輪-セントラルパークのための爆発プロジェクト」クリエイティブタイム，ニューヨーク
「爆発事件-セントラルパーク空の光輪」アジアソサエティー美術館，ニューヨーク，アメリカ
「Matrix 204/蔡國強-For Your Pleasure」カリフォルニア大学バークレー美術館，アメリカ
「キュレーションDMoCA / ドラゴン現代美術館：越後妻有アートトリエンナーレ キキ スミス展
「小休」

2004

「Inopportune」マサチューセッツ現代美術館, ノース・アダムス, アメリカ
「トラベラー」スミソニアン博物館, ワシントン DC, アメリカ
「キュレーション BMOCA /バンカー現代美術館「金門トーチカ雕堡芸術館-18の個展」」金門島, 台湾

2005

「トルネード- 中国文化年のための爆発プロジェクト」ケネディ芸術センター, ワシントン DC, アメリカ
「キュレーション UMoCA /橋下現代美術館 馬文個展「風園」」アルテ・コンティニューア, コッレ・ディ・ヴァル・デルザ, イタリア
「暗黒の中の生命」フルーツマーケット・ギャラリー, エジンバラ, スコットランド
「パラダイス」ザハタ・ナショナルギャラリー, ワルシャワ, ポーランド
「キュレーションChina Pavilion 第51回ベニス ビエンナーレ中国館」ベニス, イタリア
「黒い虹」バレンシア現代美術館, バレンシア, スペイン
「On Black Fireworks」バレンシア現代美術館, バレンシア, スペイン

2006

「コンセプト&ビジュアルデレクション「ウインド シャドー(Cloud Gate Dance Theater of Taiwan)」」台北, 台湾
「Head On」ドイツ・グッゲンハイム, ベルリン, ドイツ
「キュレーションDMoCA /ドラゴン現代美術館: 越後妻有アートトリエンナーレ 宮永甲太郎展「脈」」津南町, 新潟
「Long Scroll」ナショナルギャラリー・オブ・カナダ・シャウィニガン・スペース, カナダ
「キュレーション「長征-中国現代芸術教育座談会」」延安, 中国
「透明記念碑」メトロポリタン美術館, ニューヨーク, アメリカ
「ステージ」ガレリア・コンティニューア, コッレ・ディ・ヴァル・デルザ, トスカーナ, イタリア
「Inopportune」サイトサンタフェ, ニューメキシコ州, アメリカ

2007

「時光」資生堂ギャラリー, 東京

2008

「第7回ヒロシマ賞受賞記念 蔡国強展」広島市現代美術館, 広島
「黒い花火-ヒロシマのためのプロジェクト」広島市現代美術館, 基町環境護岸, 広島
「回個展-I Want to Believe」中国美術館, 北京, 中国
「回個展-I Want to Believe」グッゲンハイム美術館, ニューヨーク, アメリカ

2009

「回個展-I Want to Believe」グッゲンハイムビルバオ (グッゲンハイムニューヨークの協力)
「回顧展-タイトル未定」台北現代美術館

グループ展

1985

「武夷山野外展」福建省, 中国
「上海・福建青年現代美術連合展」福州市美術館, 福建省, 中国

1989

「'89 多摩川ふっさ野外美術展」「Project for Extraterrestrials No.1: 人類の家」多摩川, 東京

1990

「第7回 Japan牛窓国際芸術祭」「Project for Extraterrestrials No.5: 胎動」牛窓, 岡山
「ミュージアムシティ・天神'90」「Project for Extraterrestrials No.4: 私はE.T. -天神と会うためのプロジェクト」福岡市役所/長浜船溜空地, 福岡
「中国明日展」「Project for Extraterrestrials No.3: 人類がその45.5億年経った星につくった 45個半の隕石クレーター」プリエール, エクサンプロヴァンス, フランス

1991

「中国前衛美術家展-非常口」 「Project for Extraterrestrials No.11: 天地悠々」 三菱地所アルティアム/香椎操車場跡地, 福岡
「アジアの浪 -三人展」 東京画廊, 東京

1992

「宇宙樹を探せ - アジア現代美術への旅」 「火箭史」 埼玉県立近代美術館, 埼玉
「テレコミュニケーション時代における美術展」 「Project for Extraterrestrials No.12 : 人類の神話」
ウィーン, オーストリア
「カッセル国際美術展-他文化との遭遇」 「Project for Extraterrestrials No.9 : 胎動II」 ハン・ミュン デン, ドイツ

1993

「野外制作 '93」 「文明葬 -野焚きより」 しがらき陶芸の森, 滋賀
「沈黙のエネルギー」 「Project for Extraterrestrials No.17 : オックスフォードの彗星」 オックスフォード
近代美術館 / エンジェル・メドウ, オックスフォード, イギリス

1994

「闇中の心」 「Project for Extraterrestrials No.21 : 神話 -射日、青十字 -美術館のための処方箋」 クレラー・
ミュラー美術館 / フェリユーウェ国立公園・オッテルロー, オランダ
「アジアの創造力」 「Project for Extraterrestrials No.16 : 地球にもブラックホールがある」
(広島アジア大会のためのプロジェクト) 広島市現代美術館 / 広島市中央公園, 広島
「パース芸術祭-源泉」 「Project for Extraterrestrials No.20 : 地球への梯子を揚げる」 パース, イギリス
「水戸アニュアル '94-開放系」 「A Cosmic Diagram : 水戸のための風水プロジェクト」 水戸芸術館
現代美術ギャラリー, 茨城
「京を創る '94」 「長安からのお祝い - 平安建都1200年のためのプロジェクト」 京都
「亜細亜散歩」 「散歩」 資生堂ギャラリー, 東京

1995

'95 ジュン・アン・ビエンナーレ特別展-瞑想」 「東アジア」 ホーアン美術館, ソウル, 韓国
「水の波紋 '95」 「橋」 ワタリウム美術館, 東京
「第46回ベニス・ビエンナーレ/トランスカルチャー展」 「マルコ・ポーロの忘れ物」 ベニス, イタリア
「開館記念展 日本の現代美術1985-1995」 「東方・三丈塔」 東京都現代美術館, 東京
「第1回ヨハネスブルク ビエンナーレ」 「Project for Extraterrestrials No.25 : 制限のある暴力-虹」
ヨハネスブルク発電所 タービンホールビル, ヨハネスブルク, 南アフリカ
「第51回スクリップスセラミック・アニュアル」 「大器未成」 スクリップス・カレッジ附属ルース・チャンドラー・
ウィリアムソン・ギャラリー, カリフォルニア, アメリカ

1996

「天と地の間に -今日の日本美術展II」 「チンギスハンの舟」 名古屋市立美術館/タマヨ美術館, メキシコシティ
「ヒューゴ・ボス賞展」 「龍が来た! 狼が来た! -チンギスハンの舟」 グッゲンハイム美術館ソーホー別館, ニューヨーク
「赤い門」 「蔵龍臥虎 -真のコレクション: 美術品収蔵庫のためのプロジェクト」 ゲント現代美術館, ゲント, ベルギー
「火の起源と神話-日中韓のニューアート」 「火の用心」 埼玉県立近代美術館, 埼玉
「第23回サンパウロ・ビエンナーレ-ユニバーサリス」 「ドーム -Projects for 20th Century」 サンパウロ, ブラジル
「アジア・太平洋現代美術トリエンナーレ」 「龍 / 虹の蛇 -祝福或いは畏懼された神話」 クイーンズランド・
アートギャラリー, ブリズベン, オーストラリア
「20世紀の廃墟の中で」 「カニの家 -Projects for 20th Century」 P.S.1, ニューヨーク, アメリカ

1997

「移動する都市」 「赤いゴルフ」 ゼセッション, ウィーン, オーストリア/ボルドー現代美術館, フランス/P.S.1,
ニューヨーク(1998)/ルイジアナ近代美術館, ハンブルク, デンマーク(1999)/ヘイワード・ギャラリー,
ロンドン(1999)/フィンランド現代美術館 キアズマ, ヘルシンキ, フィンランド(1999)
「第5回国際イスタンブールビエンナーレ-人生、美、翻訳、そしてその他の困難」 「彼岸」 イスタンブール, トルコ

「第47回ベニスビエンナーレ-未来・現在・過去」 「龍が来た！」ベニス, イタリア
「不安なる行為」 「有病治病、無病防身」シカゴ現代美術館/サンディエゴ現代美術館, サイト・サンタフェ,
ニューメキシコ州, アメリカ 「亜細亜散歩II」 「天機」資生堂ギャラリー, 東京

1998

「メルボルン フェスティバル-残跡」メルボルン, オーストラリア
「イッセイ ミヤケ メイキング・スィングズ」カルティエ現代美術財団 パリ, フランス/ ACEギャラリー,
ニューヨーク, アメリカ(1999)/ 東京都現代美術館 (2000)
「交差」 「龍が来た！/狼が来た！-チンギスハンの舟」 「龍が来た！-オタワ川より」 ナショナルギャラリー・オブ・
カナダ, オタワ, カナダ
「グローバル・ビジョン- 90年代のニューアートII」 「龍が来た！」デステ財団, アテネ, ギリシャ
「台北ビエンナーレ-欲望場域」 「ゴールデン・ミサイル」 「広告城」台北市立美術館, 台湾
「インサイド・アウト-New Chinese Art」 「草船借箭」P. S. 1, ニューヨーク/サンフランシスコ 現代美術館/
サンフランシスコ・アジア美術館(1999)/モンテレー現代美術館, メキシコ(1999)/タコマ美術館 /
ヘンリー・アート・ギャラリー, シアトル, アメリカ(1999)
「天地の際」 [ニューヨークミミズ室] パードカレッジ・キュレータ研修センターミュージアム, ニューヨーク, アメリカ
「創傷-現代美術における民主主義と義務の履行の間で」 「分海 -Project for Extraterrestrials No.30」
ストックホルム現代美術館, スウェーデン
「都市・庭園・記憶」ローマ・フランス・アカデミー, ローマ, イタリア(1999, 2000)

1999

「第3回アジア・太平洋現代美術トリエンナーレ-Beyond The Future」 「渡橋」クイーンズランド・アートギャラリー,
ブリズベン, オーストラリア
「クンストヴェーゲン」 「天窓」ノルトホルン市ギャラリー, ドイツ
「時代精神」 [2000年の鐘] ボン美術館, ボン, ドイツ
「アート・ワールド・イン・ダイアログ」 「神を信じない世紀」 ルードヴィヒ美術館, ケルン, ドイツ
「ヒリヤ・イン・ザ・ミュージアム」 「ヒリヤごみ山改造計画」テルアビブ美術館, テルアビブ, イスラエル
「第3回サンタフェ トリエンナーレ-Looking for a Place」 「灯塔」サイト・サンタフェ, ニューメキシコ州,
アメリカ
「第48回ベニスビエンナーレ-APERTO over ALL」 「ベニス収租院」ベニス, イタリア
「パノラマ2000」 [最後の晚餐をつくる] ユトレヒト中央博物館, オランダ
「オープニングS.M.A.K.」 「お祝い」ゲント現代美術館, ベルギー
「現代美術の国際的現状」 「龍が来た！狼が来た！-チンギスハンの舟」グッゲンハイム美術館 ビルバオ, スペイン

2000

「上海ビエンナーレ - 上海スピリット」 「大衆のための自我宣伝」上海美術館, 中国
「オープン・エンド-MoMA2000」 「草船借箭」ニューヨーク近代美術館, アメリカ
「メディアシティ・ソウル-国際メディアアートビエンナーレ」 「ビッグバン・スモールバン」ソウル 市立美術館, 韓国
「抵抗の行動」 「ビッグバン・スモールバン」コルド・ミチェレナ文化センター, ドノスティア・サン・セバスチャン,
スペイン
「第1回越後妻有アートトリエンナーレ」 「DMoCA ドラゴン現代美術館」津南町, 新潟
「第5回リヨンビエンナーレ-Sharing Exoticism」 「文化大混浴」リヨン, フランス
「アートバーゼル31-Art Unlimited」 「龍年」バーゼル, スイス
「第12回シドニービエンナーレ2000」 「写生実演」シドニー, オーストラリア
「オーバー・ザ・エッジ」 「空中入浴」ゲント現代美術館, ゲント, ベルギー
「大地の安寧」 「礼砲」バーイア現代美術館, サルヴァドール, ブラジル
「ホイットニービエンナーレ2000」 「あなたの風水は大丈夫か？」ホイットニー美術館, ニューヨーク,
アメリカ 「インサイド・アウト」 「水晶塔」ナショナル・ギャラリー・オブ・オーストラリア, キャンベラ,
オーストラリア
「アウトバウンド-90年代の路」 「龍が来た！」ヒューストン現代美術館, ヒューストン, アメリカ
「壁」 「万里の長城を一万メートル延長するプロジェクトについて」国立歴史博物館, 台北, 台湾
「感恩」 「921の烙印」国立台湾美術館, 台北, 台湾

2001

「フロム・フォロー・フィクション」 「油絵写生実演」カステロ・デ・リボリ現代美術館, トリノ, イタリア
「横浜トリエンナーレ2001-Mega Wave」 「花火大会 -天より」横浜

「第49回ベニスビエンナーレ」 「ビエンナーレのためのサービス」 ベニス, イタリア 「ギフト」 「勝利のギフトは傷痕
累々」 パラッツォ・パペーセ現代美術センター, シエナ, イタリア/スコッツデイル現代美術館, アリゾナ,
アメリカ (2002) /ブロンクス美術館, アメリカ (2002)
「バレンシアビエンナーレ」 「焼塔のためのドローイング」 バレンシア, スペイン
「ソンスビーグ9 - 位置と焦点」 「画家のよう、絵のよう」 アーネム, オランダ
「イン・メイ現代ダンスのための視覚と環境デザイン-「分裂」」 セントマーク教会, ニューヨーク、アメリカ

2002

「到着」 「今宵はこんなにきれい」 カルティエ現代美術財団, パリ, フランス
「第1回広州トリエンナーレ 解説-中国実験芸術の十年」 「万華鏡 -タイムトンネル」 広東美術館, 広州, 中国
「第3回モントリオール ビエンナーレ」 「印象油絵ドローイング-動く虹」 モントリオール, カナダ
「ザ・ギャラリー・ショー」 「マネーバッグ」 ロイヤルアカデミー・オブ・アート, ロンドン, イギリス
「マグネット-トスカーナの海外アーティスト」 ルイジ・ベッチ現代美術センター, ピストイア, イタリア
「とち国際現代美術展デメーテル」 「天空にあるUFOと社」 帯広競馬場, 帯広
「美術の力」 「青い龍」 「九十九の黄金船」 兵庫県立美術館, 神戸
「赤い大陸 -中華」 「夢」 光州市立美術館, 光州, 韓国
「ev+ a 2002」 「逆流」 リメリック市立ギャラリー, リメリック, アイルランド
「Mミーティング」 「蜘蛛の巣」 浙江省立図書館, 杭州, 中国
「癒しのアート」 「灸療法 -アフリカのために」 アベックス・アートギャラリー, ニューヨーク, アメリカ
「関係の必要性」 「万華鏡」 トレント市立現代ギャラリー, トレント, イタリア
「描かない絵」 「階段をのぼるためのドローイング」 ライプツィヒ美術館, ドイツ

2003

「Drawing Show」 フロリダ大学, ゲインズビル, フロリダ, アメリカ
「英雄の時代-近代名作美術館-200の絵画・彫刻作品」 ヒューストン美術館, ヒューストン, アメリカ
「そして、中国へ？」 ポンピドゥー・センター, パリ, フランス
「鼓動、アート、癒し、そして変容」 「有病治病、無病防身」 ICAボストン, アメリカ
「何処かもっとよい所」 「文化大混浴」 シンシナティ現代美術センター, シンシナティ, アメリカ

2004

「紅星飛蝶 -アジア文化協会40周年のためのプロジェクト」 リンカーンセンター, ニューヨーク, アメリカ
「逆転の過去」 「空で山水画を描く」 サンディエゴ美術館, アメリカ
「ミラマー航空ショー」 「空で山水画を描く」 サンディエゴ美術館/ 米海兵隊航空基地, アメリカ
「第26回サンパウロ ビエンナーレ」 「一路順風」 サンパウロ, ブラジル
「天空の下で」 「日時計のためのドローイング」 アントワープ現代美術館, ベルギー
「ザ・スノーショー」 「ワオッカで Zaha Hadidを愛撫する」 ロバニエミ, フィンランド
「ロッテルダム国際フィルムフェスティバル-Exposing Cinema」 「今夜はこんなにきれい」 ロッテルダム, オランダ

2005

「世界を促進する」 「過橋」 クイーンズランド・アートギャラリー, ブリズベン, オーストラリア
「壁」 「万里の長城を一万メートル延長する -外星人のためのプロジェクト」 中華世紀壇芸術館, 北京 /
ニューヨーク州立バッファロー大学アートギャラリー, アメリカ
「量子跳」 「キノコ雲のある世紀 -20世紀のためのプロジェクト」 ハーバード大学付属美術館カーペンターセンター,
ケンブリッジ, マサチューセッツ, アメリカ
「トランスレイション」 「龍がきた！」 バレ・ド・トーキョー, パリ, フランス
「光と影」 キュッパ-製粉所美術館, デュースブルク, ドイツ
「建物はキュレーションできるか？」 「金門バンカー芸術館」 アート&アーキテクチャー・スト アフフロント,
ニューヨーク, アメリカ
「私的英雄」 「空飛ぶ絨毯」 マルタ・ハーフォード美術館, ハーフォード, ドイツ
「トレーディング・プレイス」 「TVで絵を買う」 台北現代美術館, 台湾
「普遍的経験 -芸術、人生と旅行者の眼」 「ドキュメント フォー 爆発プロジェクト」 シカゴ現代美術館, アメリカ
「夢見る現在」 「夢」 ブランディーズ大学ローズ美術館, ウォルサム, アメリカ

2006

「書における現代中国芸術の再創」 「和冠 -東アジアのためのプロジェクト」 チャイナ・インスティ
チュート, ニューヨーク, アメリカ
「捕風捉影-蔡国強と林懷民の風影」 誠品画廊, 台北, 台湾
「蘇州博物館新館開館展」 「水巷尋夢」 蘇州, 中国
「アウト・オブ・タイム」 「“動く虹”のためのドロワーイング」 ニューヨーク近代美術館,
ニューヨーク, アメリカ
「エルドラド -美術館落成開幕展」 「ネット」 ルクセンブルク美術館, ルクセンブルク

2007

「SAM at 75: ビルディング・ア・コレクション・フォー・シアトル, シアトル・アート・ミュージアム」 シアトル,
アメリカ
「アルテンボ-Where Time Becomes Art」 パラッツォ・フォルトウニ, ベニス, イタリア
「ザ・ミュージアム・コレクション-New Hangings」 「一路順風」 ボンポドー・センター, パリ, フランス
「60億の犯罪者を人質に！」 「黒い花火 - IVAMのためのプロジェクト」 ウォーホル美術館, ビッツバーグ, アメリカ
「Speed Three」 バレンシア現代美術館, スペイン
「オブ・ネイチャー・アンド・フレンドシップ-マイケル サリバン コレクション中国現代美術絵画」 シアトル・
アジア美術館, シアトル, アメリカ

2008

「ニューオリンズ ビエンナーレ」 「黒い花火」 ニューオリンズ, アメリカ
「北京オリンピック: ビジュアル・アンド・スペシャルエフェクト・ディレクター」 北京オリンピック開会閉会式典,
北京, 中国
「God & Goods: Spirituality and Mass Confusion」 ヴィラ・マニン, コードロイボ, イタリア
「Shu:Reinventing Books in Contemporary Chinese Art」 ホノルル. アカデミー. オフ. アーツ
「New Ink Art Innovation and Beyond」 香港芸術美術館
「Academia. Qui es-tu?」 ラ. シャペル. デュ. エコール国立美術館

2009

第10回ハバナビエンナーレ 「ミーティングポイント」
「Stages」 エマニュエル. ペロタンギャラリー, フランス アーモリー, ニューヨークアメリカ
第4回福岡トリエンナーレ, 日本
「バイク・ライド」 アルドリッチ現代美術館, アメリカ

爆発プロジェクトおよびその他

1989

「人類の家: 外星人のためのプロジェクト No. 1」 (11月11日)、福生南公園、熊川神社 (「'89多摩川ふっさ野外
美術展」)、東京

1990

「胎動: 外星人のためのプロジェクト No. 5」 (11月3日)、オリーブ園 (「第7回JAPAN牛窓国際芸術祭」)、牛窓、岡山
「私はE. T. 天神と会うためのプロジェクト: 外星人のためのプロジェクト No. 4」 (10月6日)、長浜船留空地 (「ミュー
ジウム・シティ・天神'90」)、福岡 「人類がその45.5億年経った星につくった45個半の隕石のクレーター: 外星
人のためのプロジェクト No. 3」 (7月7日)、プリエール (「中国明日展」展)、エクサンプロヴァンス、
フランス

1991

「天地悠々: 外星人のためのプロジェクトNo. 11」 (9月15日)、香椎操車跡地 (「非常口: 中国前衛美術家」展)、福岡
(ミュージウム・シティ・プロジェクトによるコミッション)

1992

「胎動II: 外星人のためのプロジェクトNo. 9」 (6月27日)、ハン・ミュンデン軍事基地 (「カッセル国際美術展: 他文化
との遭遇」展)、ドイツ

1993

《文明葬-野焚きより》(9月7日-10月20日)、滋賀県立陶芸の森(「野外制作'93」展)、滋賀
《オックスフォードの彗星: 外星人のためのプロジェクトNo. 17》(6月26日)、エンジェル・メドウ・パーク(「沈黙のエネルギー」展、オックスフォード近代美術館)、イギリス
《万里の長城を1万メートル延長するプロジェクト: 外星人のためのプロジェクトNo. 10》(2月27日)、甘肅省嘉峪市、ゴビ砂漠、中国、(P3 art and environmentによるコミッション)

1994

「神話: 射日: 外星人のためのプロジェクトNo. 21」(12月18日)、デ・ホーヘ・フェルウェ国立公園(「闇中の心」展、クレラー・ミュラー美術館)、オッテルロー、オランダ
「地球にもブラックホールがある: 外星人のためのプロジェクトNo. 16」(10月1日)、広島中央公園(「アジアの創造力」展、広島市現代美術館)、広島
「平安京遷都1200年のためのプロジェクト: 長安からのお祝い」(3月13日)、京都市役所(「京を創る'94」)、京都
「地平線-環太平洋より: 外星人のためのプロジェクトNo. 14」(3月7日)、太平洋沖、四倉海岸、(「環太平洋より」展、いわき市立美術館)、福島

1995

「制限のある暴力: 虹: 外星人のためのプロジェクトNo. 25」(2月28日)、ヨハネスブルク発電所タービンホール(第1回ヨハネスブルク・ビエンナーレ)、南アフリカ

1996

「蔵龍臥虎-真のコレクション: 美術品収蔵庫のためのプロジェクト」(11月9日)、現・ゲント市立美術館、ベルギー
「キノコ雲のある世紀: 20世紀のためのプロジェクト」(2月13日-4月21日)、ネヴァダ核実験場(モルモンメサ、オーヴァートン、ネヴァダ)、ソルトレーク(ユタ)、ニューヨーク市

1997

「飛龍在天: 外星人のためのプロジェクトNo. 29」(3月7日)、ルイジアナ近代美術館(「飛龍在天」展)、フムレベック、デンマーク

1998

「龍: イッセイ・ミヤケ、プリーツ・プリーズの上での爆破」(10月5日)、カルティエ現代美術センター、パリ、フランス
「不破不立: 引爆台湾省立美術館」(8月21日)、台湾省立美術館(現・国立台湾美術館)、台中、台湾
「ゴールデン・ミサイル」(6月13日)、台北市立美術館(「台北ビエンナーレ: 欲望場域」展)、台湾
「分海: 外星人のためのプロジェクトNo. 30」(2月14日)、ストックホルム現代美術館とバーサ美術館の間の海峡(「創傷-現代美術における民主主義と義務の履行の間で」展、ストックホルム現代美術館)、スウェーデン

1999

「龍がウィーンを観光する: 外星人のためのプロジェクトNo. 32」(11月6日)、クンストハレ・ウィーン(「私は2000年問題」展)、オーストリア 2回の爆破イベント(1999年8月18日、2000年7月7日)、
「大地の安寧」、バーイア現代美術館、サルヴァドル、ブラジル
「ゲント市立現代美術館開館記念のための爆竹」(5月8日)、ゲント市立現代美術館、ベルギー

2000

「階段をのぼる」(12月1日)、第69回アーモリー・ショウ、ニューヨーク、アメリカ(NHKによるコミッション)
「泉」(8月19日)、De Oude Warandepark(「プレジャー・ガーデン」展)、ティルブルグ、オランダ
「鋤で耕し、火で種をまく」(6月29日)、ローマ・フランス・アカデミー(「都市、庭、記憶: 庭」展)、イタリア

2001

上海APEC花火プロジェクトアーティスティック・ディレクション(10月20日)、(外灘、黄浦江、オリエンタル・パール・テレビタワー)、上海、中国
「画家のよう、絵のよう」(6月1日)、ソンスピーク公園(「ソンスピーク9: 位置と焦点」展)、アーネム、オランダ

2002

「マナー・ネット」(9月12日)、ロイヤルアカデミー・オブ・アート(「ギャラリー・ショー」展)、ロンドン、イギリス
「空霊の花」(9月6日)、トレント墓地(「空霊の花」トレント市立現代美術館)、イタリア「天空にあるUF0と神社」(8月11日)、帯広競馬場(「とちかち国際現代美術展デメーター」)、帯広「青龍」(7月13日)、兵庫県立美術館横の波止場(「美術の力」展、兵庫県立美術館)、兵庫「動く虹」(6月29日)、イースト・リヴァー(マンハッタンからクイーンズへ)、ニューヨーク、アメリカ(ニューヨーク近代美術館によるコミッション)
「逆流」(6月4日)、聖ジョーンズ・キャッスルのシャノン川(「EV+ A2002」展)、リメリック市立ギャラリー)、アイルランド「蜘蛛の巣」(5月4日)、浙江省立図書館(「Mミーティング」展)、杭州、中国

2003

「空にある驚と目と人間—シワのための凧揚げプロジェクト」(11月11日-14日)、シワ・オアシス、エジプト(シワ・アート・プロジェクトによるコミッション)
「空の光輪：セントラルパークのための爆発プロジェクト」(9月15日)、セントラルパーク、ニューヨーク、アメリカ(クリエイティブタイムとニューヨーク市によるコミッション)「ヤン・フートのポートレイト」(3月28日)、ゲント市立現代美術館(「随意の歴史」展)、ベルギー「葉公好龍：テート・モダンのための爆発プロジェクト」(1月13日)、ミレニアム・ブリッジ+テート・モダン(「テート&エッグ・ライブ2003」展、テート・モダン+テート・ブリテン)、ロンドン、イギリス

2004

「紅星飛蝶：アジア文化協会40周年のためのプロジェクト」(11月10日)、リンカーンセンター、ニューヨーク、アメリカ(アジア文化協会によるコミッション)
「空で山水画を描く」(10月16日)、ミラマー海軍航空基地(「逆転の過去」展、サンディエゴ美術館)、アメリカ「ウォッカでザハ・ハディドを愛撫する」(2月11日)、「スノー・ショー」展、ロバニエミ、フィンランド

2005

「トルネード：中国文化年のための爆発プロジェクト」(10月1日)、ポトマック川、ワシントンDC、アメリカ(ケネディー芸術センターによるコミッション)
「黒い虹：エジンバラのための爆発プロジェクト」(6月29日)、エジンバラ城(「暗黒の中の生命」展、フルーツマーケット・ギャラリー)、エジンバラ、スコットランド
「赤い旗」(6月17日)、ザハタ・ナショナル・ギャラリー(「パラダイス」展)、ワルシャワ、ポーランド「黒い虹」(5月22日)、チュリア・リヴァーベッド・ガーデン(「黒い花火」展、バレンシア現代美術館)、スペイン「空飛ぶ絨毯」(5月7日)、goebenstrasse(「私的英雄」展、マルタ・ハーフォード美術館)、ハーフォード、ドイツ

2006

コンセプト&ヴィジュアル・ディレクション、「ウィンド・シャドー」(11月25日)、国立劇場、台北、台湾、(クラウド・ゲート・ダンス・シアターとのコラボレーション)
「タワー爆発」(10月8日)、蘇州博物館(「蘇州博物館新館開館：水巷尋夢」展)、蘇州、中国
「晴天黒雲」(4月25日-10月29日)、メトロポリタン美術館アイリス&B.ジェラルド・カントール屋上庭園(「透明モニュメント」展、メトロポリタン美術館)、ニューヨーク、アメリカ
「イリュージョンII：爆発プロジェクト」(7月11日)、メッケルン通り・シュトレゼマン通り(「ヘッド・オン」展、ドイツ・グッゲンハイム美術館)、ベルリン、ドイツ

2008

「ウィンド・シャドーからの映像」(4月5日)、「回個展—I Want to Believe」グッゲンハイム美術館の一部(クラウド・ゲート・ダンス・シアターとのコラボレーション) ニューヨーク
広島原爆ドームの近くの元町リバーサイド公園にて(10月25日)
第7回広島芸術賞：蔡國強(広島市現代美術館よりコミッション) 広島、日本
「ウィンドシャドー」(11月22日)、ピナバスク際にて(クラウド・ゲート・ダンス・シアターとのコラボレーション) タンズ劇場、デュッセルドルフ、ドイツ

2009

「ボートのスケッチ」第10回ハバナビエナーレ「ミーティング・ポイント」(3/30)
フランシスコ、デ.アシシ. 広場 ハバナ、キューバ

パブリック・アート

水戸駅、茨城「ライオン：水戸のための風水プロジェクト」、 「水戸アニュアル’ 94：開放系」（水戸芸術館によるコミッション）,1994

東長寺、東京
「東長寺400年記念事業祠堂デザイン企画」（東長寺によるコミッション）,1998

博多リバレイン、博多座、福岡「ドラゴン・ポート」（博多リバレインによるコミッション）,1999

電通本社ビル、汐留、東京「亀泉」（電通によるコミッション）,2002

万代、新潟「灯台」（新潟市によるコミッション）,2003

六本木ヒルズ、森アートセンター、東京「高山流水・立体山水画」（森アートセンターによるコミッション）,2003

ブロンクス刑事裁判所、ニューヨーク「ひとつの石」（ニューヨーク市（パーセント・フォー・アート・プログラム・コミッション）によるコミッション）,2007

蔡國強キュレーションによる展覧会

2001

「橋下現代美術館（UMoCA）開館記念展 倪再沁個展」、アルテ・コンティニューア、サン・ジミニャーノ、イタリア

2002

「蔡國強によるマクシモフ・コレクション」、關山月美術館、深圳、中国
「蔡國強によるマクシモフ・コレクション」、中央美術学校、北京、中国
「蔡國強芸術展」、上海美術館、中国

2003

「キキ・スミス展：小休止」、越後妻有アートトリエンナーレ、ドラゴン現代美術館：（DMoCA）、津南町、新潟

2004

「金門の子どもたちのバンカー美術館」、バンカー現代美術館（BMoCA）金門島、台湾
「金門トーチカ彫堡芸術館-18の個展」、バンカー現代美術館（BMoCA）金門島、台湾

2005

「馬文個展「風園」橋下現代美術館（UMoCA）、アルテ・コンティニューア、コッレ・ディ・ヴェル・デルザ、イタリア
「純潔の庭：出現」、第51回ヴェネツィア・ビエンナーレ中国館、イタリア

2006

「宮永甲太郎展 脈」越後妻有アートトリエンナーレ、ドラゴン現代美術館（DMoCA）、津南町、新潟

2008

「全てが美術館」、グッゲンハイム美術館、サクラ美術教育センター、ニューヨーク

2009

グッゲンハイムビルバオ美術館「全てが美術館」3月17-9月
回個展、「*I Want to Believe*」の一部
DMoCA（ドラゴン現代美術館）、津南山公園、新潟 日本
第4回DMoCA:ジェニファー・ウエン・マー（7月23日-9月13日）
越後妻有アート・トリエンナーレの一部。新潟、日本